

キセキ便り 号外

確かな軌跡があり、奇跡を起こした1人の生徒

総合学習塾『キセキ』は今年の3月17日に新規開校し、開校時は3年生3人、2年生0人、1年生3人の合計6人でスタートしました。そこで、この数か月を経て大きく成長した1人の生徒を皆様にご紹介したく、「キセキ便り号外」にてお知らせしようと思えます。

今でも覚えています。昨年度の2月、金城中学校説明会にチラシを配布し、その夜1本の電話が鳴ったことを。これが、総合学習塾『キセキ』にかかってきた初めての電話でした。そこから、面談の日時を決め、初のキセキ生を迎えることとなりました。しかし、面談当初、彼は母親に半ば強引に連れてこられたようで、不満気な顔をし「仕方なく、入塾する」といった様子で入塾願書に記入事項を埋めていきました。2017年3月17日土曜日、私は彼と出会い、その時から彼と私たち総合学習塾『キセキ』の二人三脚が始まりました。

当初の彼は、「勉強する」といった意欲はさほど強くなく、面談初日から塾長の私に指導を受け、幾度か重ねた遅刻の上に、大説教をしたこともあります。まずは、特別なことから始まったわけではありません。『時間』や『約束』を守る。そして、消しゴムを準備してこないなど『筆記用具の準備』などについて話をし、1対1で彼と向き合っていました。

授業中に私が彼に指導する内容も、「字が汚い」「きれいに書けとは言わないが、丁寧に書きなさい」また、「基本的に文字というものは人に読んでもらうもの。だから、相手の気持ちになって書きなさい」と言った、決して高度な内容の授業を施したわけではありません。そんな指導の下、彼が涙を流したことも、まだ昨日のことに覚えています。

中学校に入学し、4月中旬に実施された小学校範囲のテスト結果では、残念ながら良い結果とは言えず、学年でも後ろから数えたほうが早い順位となってしまいました。そのテストに対して特に、テスト対策を行ったわけでもなかったのに、1対1で指導することもなく「そっかー。ここからだな。ここから」と話したこともあります。

彼の「甘え」を取り除くことから始まり、ゴールデンウィーク明けには私達からさほど指導されることもなくなり、いよいよ本格的に勉強に取り組むことができました。ただ、新規開校の私たちには知名度も何もなく、学校での友達と彼の会話の中では

友達：「どこの塾に通っているの？」

彼（キセキ生）：「キセキだよ。」

友達：「何それ？聞いたことないけど（笑）。。。」「お前にキセキなんて起こるかな？（笑）」

と言った会話が飛び交い、周りの友達からは塾に通っていることを小馬鹿にされ、彼が私たちに不満をこぼしたこともあります。もちろん、こればかりは世の常というか、名前やブランド、信用というものがない以上、「しょうがないかな」としっかり私の方では受け止め、彼に「自分が変われば、周りが変わる」「まずは、やってみなさい」そして、「やればできる」を「金城中の同級生に自分から発信しなさい」と言ったこともあります。

テスト対策が始まった時は1日5時間を超え、他の生徒が休みの間も眠い目を擦りながら机に向かい、鉛筆を握り、私や他の2人の講師とともに頑張る彼の姿は入塾当初とは180度変わっていました。塾の中は私と彼だけ。広い教室の黒板を使うわけでもなく、事務所にある小さな机の前で、ひたすら「怒られながら」「褒められながら」、時には二人だけで笑いあう、そんな日々もありました。

彼が塾に通い2ヶ月がたった頃、金城中では1学期前期テストが実施され、彼が出した結果は110人抜きの32位と言う驚くべき結果でした。私と従業員3人、そして彼を含めた5人で大いに喜び、みんなで喜びの握手を交わしたこともあります。そして、先月行われた1学期中間テストでは学年で2人しかいない数学100点という結果を残し、総合席次順位6位という誰も入塾時には予想しなかった結果を残してくれました。

これぞまさしく『軌跡・奇跡（キセキ）』である。あの1枚のチラシが彼を私たちのもとへ届け、泣いたり、愚痴をこぼしたり、罵声をあびられることもありましたが、彼がそこから逃げず、必死になって勉強と向き合ってきた結果だと思います。「奇跡」はだれにでも起こるわけではない。しっかりとした「確かな軌跡」がある人にだけ「奇跡」はやってくる。私たちの授業に高度な技術や魔法といったものがあつたわけではなく、「奇跡」が起こったのは彼の心の中に何かしらの「変化」があつたからだとは私は思っています。もちろん6位という結果が出た以上、今後彼の中で様々なプレッシャーが押し寄せてくるかもしれません。だが、結果ではなく、過程を大切に、「一人の生徒」また、「一人の人」として今後も見守り、そして、彼が転んでしまったときには一緒に立ち上げられるよう、総合学習塾『キセキ』はあり続けたいと思います。長々とした文章になってしまいましたが、金城中学校1年生の1人の少年が起こした『キセキ』をご父兄の皆様にも伝えた

く、筆を執らせて頂きました。直接彼に届くことはないのですが、1人の生徒が起こした『キセキ』に、もし、彼の頑張りを讃える方がいるのであれば、小さな拍手とともにこの文章を読み終えてください。長い文章となりましたが、最後まで目を通してくれたご父兄の皆様に感謝申し上げます。

2017年8月3日 総合学習塾 キセキ 代表 与那覇 親